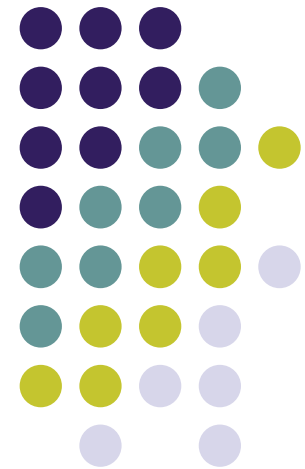


# 機関リポジトリ構築について

---

狭島大学  
機関リポジトリ構築グループ





# 機関リポジトリとは

- リポジトリ (Repository)
  - 貯蔵庫、倉庫、集積所、保管庫。
- 大学がその知的生産物を電子的な形で集積し、保存、公開するための電子アーカイブシステム。
- オープンアクセス
  - 学術情報を全世界に無料で提供。



# 機関リポジトリの目的

- 研究成果の社会還元
- 大学の知名度の向上
  - 研究成果の視認度向上
    - 大学の研究成果物を公開
    - 大学・研究者の知名度が向上
- 研究成果の散逸の防止



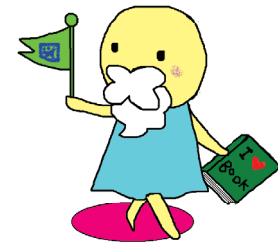
# 機関リポジトリのコンテンツ

- 構築時に公開するコンテンツ
  - 学内発行紀要
    - 今年度発行予定の紀要(著作権処理済)を対象
    - 冊子体イメージをボーンデジタルとしたものを対象
    - 仮公開時のコンテンツ数は4学部+1研究所で100件
  - 次年度以降順次コンテンツを拡大
    - 学術雑誌掲論文、学位論文、科学研究費補助金成果報告書、学会発表資料、年報など

# 機関リポジトリ構築スケジュール (事業計画承認～広報活動)



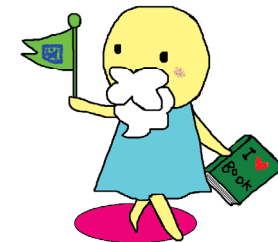
- 2009年8月
  - 事業計画承認
- 2009年9月～
  - 機関リポジトリ委員会発足
    - ポリシー(公開要綱)及びガイドラインの作成
    - 学部、研究者に対する説明会開催
- 2009年10月～
  - 学内広報活動開始(チラシ、ポスター)



# 機関リポジトリ構築スケジュール (システム関係)



- 2009年9月～12月
  - システム仕様検討
  - システム構築
- 2009年12月～2010年3月
  - コンテンツ登録開始
- 2010年4月
  - 仮公開
- 2010年8月
  - 本公開





# 機関リポジトリ構築予算

- 初年度（CSI委託事業に応募）
  - ハードウェア購入
  - システム：オープンソース（XooNlps：中国語対応）
  - システム構築 計 300万円
- 次年度以降（継続費）
  - ハードウェア保守費 100万円
  - システム保守費 50万円



# トラブル発生！

- 機関リポジトリの構築業者が倒産！
- 仮公開のスケジュールは変更できない！
  
- 委託構築→すべてを商用サービス
  - システム構築→ASPを活用(ハードウェア不要)
  - コンテンツ登録は大学院生を活用
  - 費用 初年度費用変更なし
  - 次年度以降50万円増
  - 仮公開は2010年4月(予定通り)

